

三島由紀夫文学館 第11回 レイクサロン

Mishima Yukio Literary museum-Lake Salon vol.11

レイクサロンとは

三島由紀夫文学の「研究と普及」を目的として、講演と聴講者とのフリートークを中心に、毎年開催されています。三島由紀夫に関心ある方々の出会いとその魅力を語り合い、かつ、新たな問題提起の場となるよう努めてきております。今年は、三島由紀夫生誕90年、没後45年の特別開催となります。村松英子だけが知りうる至極のエピソードを語っていただきます。



村松英子 Muramatsu Eiko

慶応義塾大学大学院英文学科修了。文学座を経て三島由紀夫氏に女優として育てられ、氏のほぼ全作品を主演。第1回紀伊國屋演劇賞個人賞受賞。氏の没後、演劇母体サロン劇場を主宰。テレビ・ラジオ・映画・商業演劇にも多数出演。夫の没後、二児のために数年間演劇を控えていた時期をへて、現在は舞台を中心に活動中。倉敷市劇場「芸文館」初代館長、鳥取女子短期大学英文科教授、北海学園大学、母校慶応義塾大学特別講師等を歴任。

主な著書に、詩集「ひとつの魔法」「一角獣」、随筆集「天使とのたたかい」「愛はわが家から」「貴女への贈りもの」「こころの花」「三島由紀夫 追想のうた—女優として育てられて」等のほか、翻訳も多数。



「朱雀家の滅亡」璃津子
昭和42年（1967）



「朱雀家の滅亡」上演打合せ。右より演出の松浦竹夫氏、中村伸郎氏、村松英子氏、三島氏
昭和42年（1967）10月



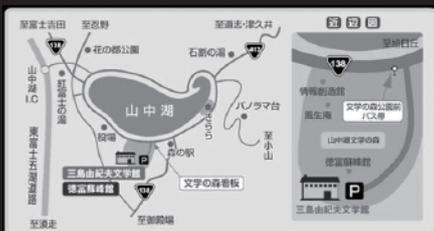
「鹿鳴館」朝子
昭和42年（1967）

村松英子

三島由紀夫先生は私の恩師です。「僕はいままで役者を育てたことはないけれど、英子を、僕の戯曲を通して育てたい」と言われて六年間。先生の代表作のほぼ全部のヒロインを演じてきました。それは先生の語り部になることでもあり、演劇のみならず、美意識や人生観を教わることにもなりました。身近かでの親しいおつきあいが加わったので尚更です。「先生の教えを独り占めしないで話して」とかつて言われた言葉を意識して、限られた時間を有効に使いたいと思います。

当日プログラム

- 13:00 三島由紀夫文学館館長挨拶
- 13:15 講演 特別講師 村松英子 氏
- 14:45 休憩
- 15:05 質疑応答 参加者
ディスカッサント
- 16:30 頃 終了



〒401-0502 山梨県南都留郡山中湖村平野 506-296
TEL 0555-20-2655 FAX 0555-20-2656
<http://www.mishimayukio.jp/>

企画展「終戦前後の三島由紀夫 - 東大・大蔵省時代」 徳富蘇峰館企画展示室にて開催中!

【交通のご案内】

- 路線バス ▶ 富士山駅（富士吉田）から25分、御殿場駅から40分
文学の森公園前バス停下車 徒歩5分
- 高速バス ▶ 中央高速バスで山中湖（旭日丘バスターミナル）下車 徒歩15分
- マイカー等 ▶ 山中湖ICから国道138号線を山中湖方面へ4km

【開館時間】 午前10時～午後4時30分（入館は午後4時まで）

【入館料】

	一般	高校・大学生	小・中学生
個人	500	300	100
団体	450	250	50

【休館日】

月曜日（祝祭日の場合はその翌日）、12月29日～1月3日、資料点検日（不定期）
※4月28日～5月6日の間は月曜日も開館

※団体は10名以上 ※三島由紀夫文学館、徳富蘇峰館 両館共通チケット

山中湖文学の森 三島由紀夫文学館